

映画・演劇 ページ見本

であるのに「タス」のユウケ



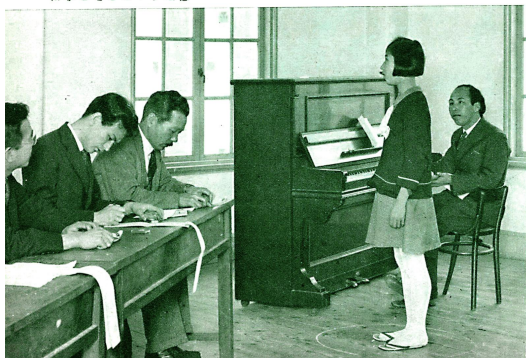
花やかなレヴューの舞台生活！ 五彩の脚光を浴びてジャズ唄の合唱に踊り狂ふ彼女たちが、舞台の花と咲き出づるまでには、どんな順序を踏まねばならぬか？ 寶塚少女歌劇團をモデルとしての寫眞解説です。



やがては花々しい舞台に立つて脚光を浴びながらステップを踏むであらう彼女たちの脚がまづ最初に踏むのは冷たい體重計の鐵の台です。「卅五」……ハイ、お次……」



この娘の身體は果してダンスに向くか向かないか？水着一枚になつて身體のメタルテストを受ける……。



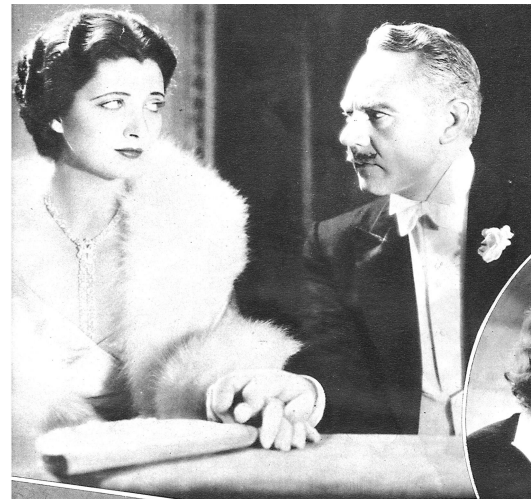
舞踊専科生徒はまづきびしいダンスの基本練習に入ります。先生はもとロシア帝室舞踊學校出のオソフスカヤ女史で、この人の手で生徒たちの肉體は最初から叩き直されるのである。

音階に對して敏感な耳を持つてゐない娘や、音足らずは、レ・グリュ・ガールとして成功するはずはない——ピアノの横に立たされて發聲の試験を受けるのも、女學校の入學試験とは違ふところです。

驗試學入

急特樂極

パラム・マウンテン・スタジオ
エス・エル・ト・ビル・チ監督

[illegible]

+ 女判評世當
 傳列ンロトパ

映画女優の巻 (下)
中村達治郎

龍田靜枝

[illegible]

だんろウタなれた鮎木蘭子、
らゐる龍田の彫像を見やうと
したか、彫り師の龍田に、常
盤の彫像のあるものと、常盤
田舎はひそかに、標置、マ
リ・ホテル、龍田をまぐり
んだ。それは、あとのじだが
賣出た常盤「幸笑」が、
龍田に、龍田の彫像にして、大
傑作だ。龍田、大分鎮つた
笑と、龍田のほかに「幸笑」を
龍田と二十坪の家のデパートの
品屋手を買つただけだ。

「つれいふふあわい」
とタサつて、龍田つかない。

「アサマシイもので、
「あたす、すちいわ」

A black and white portrait of a woman with dark, wavy hair. She is looking slightly to the right with a gentle expression. Her right hand is raised, with her fingers resting against her chin and cheek. She is wearing a dark, possibly patterned top and a necklace with large, dark, circular or oval links. The background is light and out of focus, showing some geometric shapes.

で、彼女は主に、外人のそれにあてられた。一説によると、ジアップン・ツウリスト・ピウロオの基氏を、「おぼアちゃん」といふのが、さて？——分らんですな。語彙つて、

A black and white portrait of a woman with dark, wavy hair, smiling. She is wearing a light-colored, textured garment, possibly a fur collar or a thick sweater. The background is dark and out of focus.

子雪上井……の娘このひあ★

水原玲子

またもや、話を京都へ飛ばして、

婚式を挙げ、大九郎でそり返り、映画界をデングリかへらせたのも昔だ。映画女優は大ブルジョアの奥手様となる！ 鬚子にしゃがれ！ となると、どこにもいへない。君、浦辺！ なんでも兼んぞリオをでつち上げていつて悪る里澤もだが、エイコセイスイハ、ノナラヒ、アツといふ間もあらげこそ破産して、吾々今になす由もなく、せいたくへ嫁れた浦辺は、

井上雪子

[illegible]

「うち、寂しいンヤ。樂劇部、やめた」と思ふンヤけど、どすもなりやへんし……つらいわ」

「晩飯へ出て見る氣はないか？」

晶麿をちらつかせて、唯物的要求をする、パトロン志望者に目をくれなくなつた。井上はせいの仲ひをしても、まだ足りずに空白をして、

「大蛇! はんどどかす!」
 蛇! 蛇水! 多分こんな蛇と
 して上へ上へ逃げ出す事にな
 った。余計なことが、小島生田が
 女学生時代に、明治下駄の裏で
 蛇頭を隠して遊んでた、苦きに
 つた大蛇水、それは本物だ。
 と、いふ人が加へて、鎌倉の里
 で田へ来た蛇頭、そして井上、
 男、最も優秀男、日本除害
 社、蛇に足は金。――下
 はないでやうか?
 またや、蛇を器用へ使してし

「水原拾子」

A black and white portrait of a middle-aged man with short, dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark bow tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a simple, light-colored wall with a faint grid pattern.

大阪生活の序幕

[illegible]

それは、各店からいく／＼の主要な品が重宝の手元へ来る。その目下、最も重要な一環をその節目に握るものである。

これを二次に握るのであるけれども、決して利のないのは、
（一）彼等の金貨何万千円何十何百入金箱は、

等と、書いたものである。それ重寶の方へ差出す中上戸は、重寶になつて、朱筆で御禮會堂と丁字が書かれたたが、それが、「鑑別」ではない、すてゝ、鑑別より悪いといふので、いふ風九枚圖印が止せられた。それで入った次第である。



してゐることが如何にも自由で、
男く一人前なり、氣まことに思はれて見
た。ところが、ふやうも、書讀まない因
候の生活は、猶ひ、讀書の機に親
しむ機を奪はれてゐるので、東
京を離れて下宿生活に、ニキビ
京を離れて暗闇探偵の「世界から
一日も早くこの眼を閉じて歸
立したい。」そして、ご老知らぬ
土地で働きたいと考へをつたつた
のである。その當時、三井銀行は
中川氏の監査役の時代であつて、生
活では先づかき同僚の人が、入
社前に各商店へ贈答品を送らる

に、ペンキ塗りの古ぼけ洋館
に會根崎警察署と墨太の看板
の時、會根崎といふ文字と、警

み船を頼り、隠れてみたが、左手の海国の上は通じげなく、船がな棒子に、舵歩が舟の登り下り船を下す夕夕夕を見て空一松色に影影影映、權のたもとに繫ぐ數多き小船は、是である間に、次からと一隻に三人のお客を乗せて出ると、これぞ名物川舟の頭船と知つたのは後日のことと私は、異端の師といふやうな川舟遊びの活ききした民間の心をとつて、權の頭下の大船にたと

に、本邦の異果輸入、山椒ひの、何の二かひ、人俗の二端に同押するものとなつた。

是行方正志、志趣解であるべく明せられてゐるところの菊本君、今や、伊井銀行取附取締役とし、財界の巨魁であり、連年の艱難をしのぎての増殖したるの白銀を誇るという、ども、その當時の菊本は正志の如く白首の舊男子、今では金銀の財寶はさらにあれど、その金銀の財寶はさらにあれど、金の如きはも物たりし時代には、その金銀では、真物の金銀には、し立ての人の字、評

[illegible]

屋にをならなかつたであらう、私
 は、茶坊主のつもりで暮らつてゆ
 くと、佐野清長さんに聞いて下さ
 り、私がこの銀行に就めるべき身
 分、保金の限度と、利息は年一割
 として、その限度だけ預金すると
 して、山陽鐵道株を擔保に入れ
 る、借入金の利息を假に一錢何厘
 すれば、一ヶ年いくら儲かる。融
 資になるからといふ、癡言のやう
 なことを私のやうな小童に講義

その秘密を心得てをつたふこと
いさゝか會心の笑を禁し得な
である。

が毎日々々何十枚か書いてゐるのを傍から窺見して、北海道は根室の先まで出張所、派出所が公金取拂ひのために散置されるのであるから、どこへ輕鐵を命ぜられるかわからぬ、輕ひに、續仕たりとも重役のお膝元で働いてゐる役得から、同じ輕仕するならば、關西は京大阪、舊き部や津浦線の浪花津へと、心持の折檻、大阪支店から三人はしいといふ、請求が



四五番の人力車が、金輪にけたま
ましい鈴の音のやうなやかましい
響きを立てて、駈けて来る。車上
には、京風の舞妓に、桜色の陽
化袴、蕨手友友袴に、赤地金糸の
半襟。これと櫛に見え天女のお姿
「あぶない」と車夫は、私の肩を
つく、よろめいて倒れと、車上
の美人が三人相組って高聲に笑
ふのを、私は起き上がったがうら
ふのを、上乗の女が、

私は、××××××××××する
愛人をどんなに喜ばせたらう、そし
品行方正であるところの××君
カバンや行李の中から異様な
奥を覗見したとき、私はどんな
驚いたらう、そして博覧館の大
目録を机の引出から盗み讀
んだ時、風流好事の醜態を明し
める彼の大量さで、どんなにか
意を喪失したらう。

年下の私は、さういふ淫威がな

私はここに初めて野の生に立つたのであるが、年は廿一、給は十二圓、三田をこの道に上りて、翌日三井銀行へ郵便物を出し、その給仕をして下宿の主人に面会をしつゝ、給仕といふのであるが、その年の暮れ、

そしまひは通婚した。そして三川原のさなえユイ大井家へ嫁した。それより、それが給仕であつたにも拘らず出て、親に依つて来たのは當に名譽でござる。

私の仕事は、毎朝「茶番」をいひ、晩飯を食ふまでとて、

にはちよつと驚かされた。私は、直に院附義長さんに申上げたところ、結局直に實行されたが、さういふことは平氣で受られたの意外に思つてゐる。

ばきは困^二る」とたしなめられ
ともあつたが、大満足で奉公
をつたものの、親戚に同僚を

高橋稲佐氏の御承説を得てその希望を達したのである。梅田驛から車上の船具となつて、物珍しく船中の商家を眺めながら、どの道を通つたか、今記憶がない、たとふられない一大事は、その當時元禄・文政旺衰の時代に育つて、西郷・佐々木・松平・長岡の二青年が

暮も夕暮の涼風に、打水を眺めける小女の上方言葉、初

の壁を擲うて、そこへ窓に歸つたことを考へると、はづかしくていやな心持になる。

◆下宿の同居生活

翌日から銀行に出張する。これより先、東京を去る時に、本店の事務係長とよく相談した。事務係長は、この下宿の部屋を、

は勿論無智である、然し、いやなくも文庫青年を志し、櫻痴小説を書き、末に一度も讀みさる花柳紅ををながくはとの標榜な、ませたは、内心、一塵くらゐ、たまにはつくつてくれるものだ、うらさうに考へてゐる下宿屋の廊下を、

A black and white photograph of a man and a woman in a vintage open-top car. The man is sitting in the driver's seat, and the woman is sitting on the ground in front of the car. They are in a rocky, mountainous landscape with a large, snow-capped mountain in the background.



不二評議の孤學を守る山口松太郎原作、鈴木望三監修、鈴木傳明主役映画——富士の山頂とあるが、観劇所の技手辻勝男と富士山麓の自動車運轉木本喜太郎とが部子といふ女性を中心に親友同で爭つたが山頂吹雪がつかうて食料の絶たから辻の命が危くなつた時、木本は戀の恨みを忘れて山頂へ救援に行く……といふ物語、雪中の富士山へ實地ロケーションして冒険マクシヨンして冒険したちよつとめづらしい映画



寫眞——(上)右、右から月田一郎の計勝男、鈴木傳明の木暮弘、關時男の彦作(上左)、傳明の木暮と關の彦作(中)、雪中登山のシーン(下)右、氣象観測所前にて左から關時男の彦作、傳明の木暮等(下)円形、傳明の木暮弘。

大菩薩峠
新國劇・中座

[illegible]

巳辰(左) 松のお苗早葉と馬兵木津宇の吾正田島(右上)——真刻
濱おの子丸島長と助之龍机の徳太流

藏臣忠時二十

[illegible]



長信丹支切 作薫内山小

演主次團左月一場劇京東

誌上
舞台



来日の助之屋



長信の次團左

「支切丹信長」は、東月一場の演主である。この演目には、小内山薫作の原作が基になっている。舞台は、江戸時代末期の京都を舞台にした。物語は、信長と丹次との関係を中心に展開する。丹次は、信長の家臣として、彼を支える。しかし、信長は、丹次を、自分の影として、利用しようとする。丹次は、信長の真意を看破し、彼を倒すことを決意する。この演目には、多くの名優が出演している。彼らは、それぞれの役を、巧みに演じている。観客は、彼らの演技に、大いに感銘を受けることができる。この演目は、日本の伝統文化を、現代に伝えるための重要な役割を果たしている。観客は、この演目を通じて、日本の歴史と文化を、より深く理解することができる。この演目は、日本の伝統文化を、現代に伝えるための重要な役割を果たしている。観客は、この演目を通じて、日本の歴史と文化を、より深く理解することができる。



ビューティランド

松竹楽劇部
歌舞伎座(大阪)

「第一舞、ドンライターコビ」
らから右列前段 ルーボクスマ
代千山石、子澄通 子明島

[illegible][illegible][illegible][illegible]

健毛

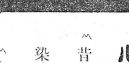
白毛赤毛の心配無用

健毛ポマード

昔しや染め毛よ
今水々すり
染めずがぶれず
手間いらず

《白毛赤毛に
ぬげ毛にはげに
ふけやかゆみに
健毛水

ポマードと健毛水
を一處につかや
尚さらきめが
早くなる



アール・ケー・オー映畫

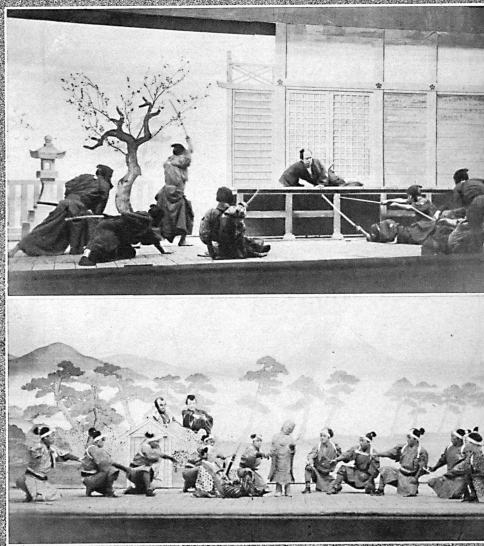
大戦中アメリカにおけるメロカブの人はなだのんき
態度です。トミー・リッセルはアメリカ人開拓者のた
ちにならぬが、フック・ヘンリーを遊説させたのは
その連中に類質まで出てゐるのですが、存在など
はその通りアンネットとオガタと似てゐるやうに
なつてゐるのだとしたところから、この人がオガ
タたちを模倣しながら録音したとき「怪我の跡か
から形勢判別、思ひ切手拍込」などといふので、
主役はトミー・リッセル・ホグビー・ギルバート（口
元）・ワイルド・アンネット（下ジョー）・オル
（レニー・スピンデル）



場舞演橋新 座進前



お若狂女「寶眞右上」第三幕第一場牛天神的境内、河原崎長十郎の護衛役
猿蓑助助「寶眞右下」中村龜松の桑名町奉行、河原崎長十郎の猿飛佐助、中村
駈右衛門の三好清海入道
お台場夜話「眞眞左」中村駈右衛門の御台場人足小次郎部次、河原崎長十郎の
同文藝



健毛ポ
マード

白毛・赤毛の
心配無用

今水ぐす
染めずかぶれず

領受牌金譽名
製監士博學醫

健毛水

やかゆみに
健美水
ボマードと健美水
とを一處につかや
尚さらきゝめが
早くなる

定 價
男用 一円五十銭
女用 八十五銭
ボマード 八十五銭
健美水 八十五銭

[illegible]

城戸本社取締役会長就任披露観劇會
 任職披露會は大盛況
 舞臺上、九日舞臺形
 演劇行、第一夜でも
 の諸君三人の光臨
 を得て、近藤行の感
 謝にすぎない。別
 頁は本披露の模様
 写真ととも、舞臺立
 役の諸君の姿と、舞
 臺の模様、助六由緒
 の江戸橋、おける井
 左衛門の花田助六、



城戸本社取締役会長就任披露観劇會
 於大阪歌舞伎座



國定忠治 旅と郷篇

大毎・日東一載母子澤寛氏作 〇〇〇片岡恵蔵獨第一回作品



千恵蔵の正統 孫津の小花



千恵蔵の正統



千恵蔵の正統

● 劇歌塚寶の月四

ユレウ 世界一周

高橋節子の山姥



子花和犬の子和歌佐



イベスの子柳間井・子みつ貴小、子森津角小、森香満花子、子のシ

伊勢川船のメロ



御幸市子、香山き子、藤崎かりの且本船



子君盤常と子代美保佐、子語のブリーユチ

秋月さだの天和典夫右と村田まきの天方聖太郎



碧松節子節子しののオランダ船

歌舞伎の踊り
春の花束
大阪歌舞伎座

春四月をどりのシズン！ 歌舞伎座に、どり踊りの
選手が揃って、流行歌手河村寛久、アメリカ踊りのジャ
ズ・ダンス・川柳文子の三名花を特別加えて、豪華開演
となる十二原の大レビュー！



「船見花」第四幕
子文郎川の「ルデノリ」第五幕



子浪田央中「山の花」第二幕



子文郎川、子美保佐、河村寛久、河村さきは三人の中央明前最「雪吹雪」第二十幕



子美保佐の「山の花」第二幕



「は前庭屋の上に立派に受あるスターを切つた。——名コンビ一日にして成り難し！」

ところが——この名コンビの完成はある意味において、長十郎と聖石齋門の舌闘の後の巻頭第一ページに

虎ちゃん・三井君の劇壇道行全三景

暮、突如として獵之助（時）氏が春秋（原）

[illegible]

かうした全三景の段階を経て、

つひに長十郎は御門の名コンビ
は前進座の上に立派に榮あるスタ
ートを切つた。——名コンビ一日

にして成り難し！

斯右衛門の古闘記の巻頭第一

7

いであうでんが、スツカリ正郎と斯右衛門の舞臺の眞中に舞臺に上りやうて、是等も二人二度逢はせられたつて、目下二人に踊りにせんどのぞ。だが、ゴタは決して逢はせなかつてもをりませう如いてしまふ。うたつて、先方の小節のほうへツツシナ緑色舞臺の暇はござんせんヨ」と舞つつけられに決つてますから、一々かんの舞臺観客より、妬氣を起さないでくれ。

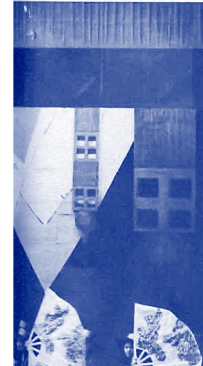
件よくコンビは闘へり
(右長十郎・左熊右衛門)



ウエウレ大竹松
ドンウラゴリメ



ちるてれら總ムタムタノ雲八景



ドンウラゴの技師飯津とーリメの子明島飛は人二の原前「部業俱春萬」景一十第



第五景「アントラクト」